

農園便り 5月号

2024/05/01

(137号)

文責 筒口典康

3月、4月に、耕作区の「土」を準備しました。化成8・8・8、高度化成14・14・14は、使わない。化成肥料で野菜たちは良く繁茂するのですが、だが、美味しくない。N・P・K肥だけでは、味が出ない。「旨味」「コク」「香」「独特の色」…が…、のらないのであります。良く育つが、それだけのもの。病虫害も多発する。

有機栽培の野菜 有機物を菌や小動物たちが分解する。そして有効成分が合成される。有機の成分が無ければ、美味しいものはできない。手間がかかるが、有機・有機。農薬を使わない、安全で安心な野菜を作ろう！。

台所から出る生活塵(有機物)を醗酵・分解・合成させた肥料を使いますと、栄養豊かで美味しい、元気で美味しい健康野菜が、できるのであります。

有機資材は、探せば意外に身近で手に入ります。井草の踏切の脇に「隈笹」の原がある。千川上水の土手に「草」がある。「厚焼きの玉子」の工場があれば、玉子殻は、ゴミ。無料で手に入る。大学の馬術部の「醗酵馬糞」、これも無料。成蹊大学・早稲田大学の馬術部が近くにある。

スーパーの魚売り場の骨、アラ、ハラワタ。野菜売り場の野菜屑。無料。いただきます。ちょっぴり勇気があれば、もらいまして、有機肥料を作りましょう。養豚場は近くはない。

有機栽培の野菜たちは美味しい。日持ちがいい。栄養豊富で綺麗。とにかく無農薬で作りますから、安全だ。少々の手間と時間はかかります。でも習慣化してしまえば苦にはなりませんよ。

『畑を良くするには先ずは、タキイ種苗の「ダルマ堆肥」だ』と、清瀬の専業農家の松村さんに教えていただいた…。提供される商品がお高いのが難点であるが。有機肥料は、自作が一番。購入二番。

「ダルマ堆肥」は、青梅街道、田無警察署の前で入手できる。お店の名は、「小川商店」、農家対象の種子屋さんです。大袋入りで1000円程度です。タキイ種苗(京都)で直接購入すれば、玄関口に宅配されます。便利になったもんだ。オザキフラワーセンターでも注文できます。

石神井農協で「みのり堆肥」「カニ殻ペレット」「骨粉」も買っています。甲殻類のゴミは、「放線菌」の餌になる。「放線菌」は、病原菌(悪玉菌)を抑制するありがたい「菌」

なのである。

化成肥料中心の栽培の畑では、害虫が寄ってくる。 で、ネットを掛ける。薬を撒く。何故か化成中心の畑の野菜には好んで虫がやってくるのであります。病気も多発する。 でも、有機栽培の畑には何故か来ない。発生しにくいのであります。有毒な薬剤散布も必要でなくなります。有機・有機で、参りましょう。私の場合、化成8・8・8は、使いません。野菜たちが痩せているなど観察した時だけ使います。人間の病気気味になった時のサプリメントのように使います。もち直してきましたらすぐ止めて、有機栽培に戻します。4年で、1度もありましたでしょうか。ですので、少々の化成肥料を保管しています。

ネットで太陽光を弱めない。 パパイヤを植えまして光量を調節する。 強勢なパパイヤを活用しようと思います。光りが必要であれば葉を切り取れば良い。根耕に使うパパイヤ。(3月号) やってみます。

マルチには、刈草を使います。 マルチは、保管しておいた肥料袋で間に合わせます。とにかくオクオク・ラクラク(置く置く・楽 楽)で、省エネで参りましょう。

何でも地表に置くだけ。とても楽なのであります。刈草を置くだけなのです。

今日(4/22) オザキフラワーで、トマト苗を4種、各1本購入する。23日、植える。鉢根が直接耕土に触れないように購入の用土で包む。前年の方がどのように作られていたかは解りませんので、用心用心。1本で多く採る。

竹支柱 数年前までは大阪の「国華園」で竹支柱が準備されていたが、カタログから外れてしまった。ビニール被覆支柱のオンパレード。竹支柱が懐かしい。用途に応じた竹林も無くなる。杉並の中瀬中の「矢竹」、その近くのお婆ちゃんの庭の「淡竹」(中瀬中近く)。善福寺公園近くに「孟宗竹」「真竹」「ホテイ竹」。練馬区と杉並にの区境近くの、野田さん宅の「孟宗竹」はまだある。3軒並びの豪農の真ん中、「ホンダ」のビルになってしまった。

そうそう、中瀬中には近所の西山宅から「孟宗竹」を戴いて、茶室の庭に植えました。今も繁茂しています。とにかく竹支柱は手に入らなくなった。

4月24日、雨。



私の 57 区(区民農園) 水槽 3 つ置く、サトイモ、ショウガ、小松菜 中央作業路、モロッコインゲン 2 段目の写真は、「孟宗竹」ダイコン、小松菜、レタス 近くのお宅の藤、スマホで拡大しますと、日付が解ります。 GA東京ホームページ「筒口典康」をご覧ください。

スマホで、有機肥料・・・「検索」で何でも探せます。 何と便利になったものだ。

発泡スチロールに入れて越冬させていた芋たちの中に、ジャガイモが・・・。 皆さんの畑では、花芽が着きだしているのに・・・ 。 急ぎ準備しておいたナス列に植えました。 ジャガイモには、肥料入れすぎの畝に、とにかく植えました。 耕区の中央の作業路の直ぐ隣の列に植えました。 それで、追肥無用。 どうなることになりますか・・・。

いささか乾燥気味のジャガイモ、地表に芽が出てくるのに時間がかかりました。(4/20) 芽が出てこない株もあります。 土ごと掘り取って、「土」を入れ替えます。 同じ「科」同土では病害のお恐れがありますから、土を入れ替えました。 これからそこにナスを植えます。 追肥用の深溝の隣です。 区民農園は狭小な畑地なので色々と無理させています。

ナス、シシトウ、ピーマンとキュウリ 各品種 1 本でまいます。

濃い紫色の長ナスと白長ナス。 長茄子は、木の勢いが良い。 少々濃い目の施肥で、V字仕立て。 鶏糞を振ってソバ殻でマルチ。 水分多めの散水で・・・。

井草の農家の西山さんに色々とお教えてもらいました。 彼の場合は、ビニールマルチ。 とにかく良く取れている茄子畑です。 根元がOKの指輪の太さに育っている。 味が良いナスの生産者だ。 水を驚くほど撒いている。

シシトウ、ピーマンは、水分少なめの畝に。 根が横に生えるようで表層に鶏糞を置きます。 刈草マルチ。

キュウリ キュウリの根は畝の表層近くに広く伸びる。 根を踏まないように気を付ける。 植え付けの後の緒作業をする時に、厚板を置く。 とにかく踏み圧を懸けないように気を付けています。 できれば稲藁で、マルチをしたい。 水分大好き。 苗を植え

たら脇に同じキュウリの種を1・2粒蒔く。

いずれにしても、3月にしっかり有機肥料で「土」を作っていることが前提であります。 マルチをかけて、後は、「水」遣りなのであります。

有機栽培の場合、「土」を乾かさないことが大切です。乾燥と紫外線で「菌」が死滅しないようにします。『筒口さんの畑は、土の色が黒々としているネ』と言うことでございます。

板 私は、「板」を多用する。仮通路、踏み圧の害を防止する。紫外線を遮断する。保温。幅の狭い深い溝⇒追肥溝の堰板に使う。マルチなどが飛ばされないようにと、重石。各種の黴菌が着いているので菌種元。ラワンなどは腐蝕して、バーク堆肥気味になる。腐蝕してくると「菌」「昆虫」などの住処となる。畝全体の「土」止めに使う⇒堰板。雑草防止。土中の炭素成分の補給。色々と、良いことづくめである。安価なベニヤ板、ラワン板、建築古材、コンテナ底のサナ。等が使える。運ぶのに重いのが難。自転車では危ない。気をつけて運んでいる。

草を見て「土」のPHを推測する 大島で生活していた時にJR東海で、熱海に。伊豆箱根鉄道の船で島に渡る。で、熱海の「モア美術館」に行く。豊臣秀吉の金尽めの茶室見学。そこに世界救世教(PL教団)の本部がある。自然農法を勧めている団体でもある。「草とPH」の資料をいただく。

スーパーのコピー機で拡大して、農園便りに貼り付けます。もしかして、印刷できないかが心配である。写真機で撮ってと…。いつものやり方ですと、罫線枠の中に取り込むのですが、手影ができてしまい、うまく作れない。糊付けするしかない。とにかく参考にして頂ければ幸いです。(雑草の土壌PH適応性)

去年(2023)は、柑橘たちがとても良くできました。 今年(2024)は、全く花が付いていません。近所の方々の蜜柑の木々にも咲いていません。不作年？

善福寺公園近くのお宅の夏蜜柑の樹も見に行ってみようと思います。若しかして、温暖化のせい？果樹は、多収穫の翌年は、不作になる。でも広い地域の木々に花が着いていないのだったら何だ、と心配する。柑橘類は、暖帯広葉樹。東京も適地になったと喜んでいるのに、心配である。

鉢に植えてあるスプリングアーレイとネーブルにはびっしりと花芽を付けている。小苗なので2から3個いただけるかな。姪の洋子さんの所に移植するつもりです。私は、あと10年生きられるかどうかですが、苗木のミカンは、これからが始まりです。10年後にはたわわに実を着けているであろう。

二人の息子に言うのですが、「職場の空き地に自分の樹を植えてみな」と。年々楽しみが…膨らむ。果樹だったら一層楽しめる秘密だ。果樹公園を作るのも良い。楽しみは自分で作らないと。『そんなこと言っていた？』と言う。高校の同級生の岩城君(津田沼)も…、昭和にグレープフルーツの種を蒔いた。大樹になって、たわわに毎年実っている。『楽しんでるヨ』と言う。彼れのお宅のキウイフルーツもまた、素晴らしい。津田沼は暖かい。

T、